

## 基礎情報学研究会 第4回勉強会のご案内

2013年8月20日

- 1 日時：2013年9月14日（土）午後2時～午後5時
- 2 場所：コンピュータソフトウェア著作権協会会議室  
〒112-0012 東京都文京区大塚5丁目40-18  
友成フォーサイト ビル6F 03-5976-5175  
東京メトロ有楽町線「護国寺」駅1番出口を出て右折後4分
- 3 講師：三村 和子氏  
鉄鋼系S Iベンダーでコンサルティング・開発を経験し、現在 放送大学大学院文化科学研究科臨床心理プログラム 修士全科生
- 4 講演テーマ：「IT技術者のウェル・ビーイング（心の健康）」

### 5 講演内容：

企業社会が変革期を迎えるなか、心の問題を抱えるIT技術者が増加していると言われています。これには、IT産業における業務の特性、教育機関／企業等における情報教育のあり方、企業／組織文化における人材活用の考え方、そして個人の働きがいなどの価値観が、IT技術者各々の仕事上の悩みや人間関係に影響を与え、結果としてIT技術者が心身の不調を抱えてしまうということが考えられます。

IT技術者のウェル・ビーイング（心の健康）という課題には、当事者本人の生きがい観や幸福感との関係で見極めていくことが重要であると考え、「やりがい」に焦点をあてています。西垣通先生が創始された基礎情報学では、情報のもつ「意味作用」、そして心的システムとして「心」とは「思考」を構成素とするオートポイエティックシステムであるとして心の問題に注目しています。また、オートポイエティックシステムの観点から、社会システムや社会的コミュニケーションを捉え直すことが、新たな人間観や世界観を生むとされています。この考え方を基本とし、IT技術者のウェル・ビーイングをオートポイエシスの観点で分析を試みます。

### 6 講演次第：

- 1 IT技術者が抱える心の問題の背景
- 2 心の問題、特にアレキシサイミア 傾向との関連で懸念されること
- 3 IT技術者のウェル・ビーイング、やりがいとの関連
- 4 情報化社会において、IT技術者がよい方向へ向かうための方策とは

アレキシサイミア（失感情言語化症）とは

アレキシサイミアの人は、自分の感情に気づき、言語化することが困難で、特に喜びや幸せなどのポジティブな感情を感じることに困難がある。想像力が貧困で、抽象化能力の欠如がみられる。

（引用）Taylor GJ, Bagby RM, Parker JDA (1997) : Disorders of affect regulation :Alexithymia in medical and psychiatric illness. Cambridge: Cambridge University Press. 福西 勇夫（監訳）秋本 倫子（訳）（1998）：アレキシサイミア——感情制御の障害と精神・身体疾患 星和書店

参加費：無料

参加希望の方は以下のメールアドレスにメールをください。

at5n-tkd@asahi-net.or.jp

「基礎情報学研究会」事務局 高田信夫宛て 携帯電話番号：080-5438-4087